

東京 2020 オリンピック・パラリンピックに向けて

～オランダ連携プロジェクトからホストタウンへ～

西東京市は、東京 2020 オリンピック・パラリンピックの機運醸成やパラスポーツを通じた共生社会の実現に向けて、オランダ王国の関係機関と連携してきました。

昨年 12 月 28 日には、オランダ王国のホストタウンに登録が決定し、連携により築けた関係性を活かしつつ、これまでの取り組みを発展的に推進します。

今後、だれもが楽しみながら健康になれるよう、スポーツ振興・障害福祉・文化振興・産業振興・子育て支援・教育など、多面的に事業を展開し、多くの皆様が参加できる機会づくりに取り組んでいきます。

1 ホストタウンの取り組み

オランダ王国のホストタウンとして、東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた機運醸成と、「Game Changer プロジェクト ～パラスポーツで社会を変える～」を通じた共生社会の実現に向けた取り組みを促進します。

これまでの障害者スポーツ分野に加え、教育・文化・産業などの分野においても交流を拡充し、オランダ社会全体との交流につなげます。

- ◆西東京市にゆかりのあるオリンピック・パラリンピアンとの交流
- ◆オリンピック・パラリンピック競技の体験イベント
- ◆オランダ人アスリートや専門家との交流

次の事業は、既存事業などと連携した事業の一部です。※「3 予算額」には含みません。

- ◆東京 2020 大会に関連する藍染作品作り
- ◆障害のある方を対象としたパラアート制作ワークショップ
- ◆市内産農産物を活用したオランダマルシェ
- ◆親子で楽しむ体操教室 など

2 オランダオリンピック委員会・スポーツ連合との連携

障害者スポーツの普及啓発、障害者の理解促進など、パラスポーツ（障害者スポーツ）を通じた社会課題等の解決に向けた「Game Changer プロジェクト ～パラスポーツで社会を変える～」の取り組みは 3 年目を迎えます。

「オランダから知識・経験を継承する」をテーマに、オランダが歴史的に成し遂げてきた社会におけるパラスポーツの定着や、パラスポーツを通じた共生社会の促進に関する知識・経験を学びます。

西東京市でのあり方を検討するとともに、パラスポーツを支える人材育成を引き続き

行い、活躍の機会の創出に取り組みます。

【参考】来日プログラムの様子（2月5日開催）

ゲスト：リオパラリンピックの車いすバスケットボール銅メダリスト

マリスカ・バイエル選手 ボー・クラメル選手

オランダパラリンピック委員会事務局長 リタ・ファン・ドリエルさん

スポーツコンサルタント マヨライン・デ・ブーアさん



パラアスリートの講演



車いすバスケットボールの交流

3 予算額 4,000 千円（ホストタウン事業、オランダ連携事業）

【問い合わせ先】生活文化スポーツ部 スポーツ振興課（TEL：042-438-4081）

資料のポイント

ホストタウンで取り組みを加速

これまでの約2年におけるオランダ連携プロジェクトにより「スポーツの価値と可能性」をオランダから学んでいます。今後、ホストタウン事業が加わることで、オランダの教育・文化・産業などの分野においても交流を拡充し、東京 2020 オリンピック・パラリンピック大会へのさらなる機運醸成や、共生社会の実現へ向けた取り組みを加速していきます。